

ドミニコ会 800 年の伝統に支えられて



学院時報

No.87

平成28年10月1日発行

聖ドミニコ学院

角五郎幼稚園・小学校
中学校・高等学校

〒980-0874

仙台市青葉区角五郎2-2-14

URL: <http://www.dominic.ac.jp>

E-mail: high@dominic.ac.jp

T E L 022(222)6337

F A X 022(221)6203

北仙台幼稚園

〒981-0914

青葉区堤通雨宮町11-11

T E L 022(234)3615

2016年は、聖ドミニコがローマ教皇ホノリウス3世から説教者会（ドミニコ会の正式名称）の創立を認可された1216年から数えて800年目の喜びの年です。

聖ドミニコ学院はドミニコ会の流れを汲む学校法人として1953年に誕生しました（学院年表）

1931年	聖ドミニコ女子修道会の5人の修道女が仙台に修道院を設立	1953年	学校法人聖ドミニコ学院創設 同じ年に小学校設立
1933年	暁の星学院（外国語学校）設立	1959年	中学校設立
1937年	暁の星幼稚園（現在の角五郎幼稚園）開園	1960年	高等学校設立
1949年	北仙台幼稚園開園		

聖ドミニコと共に歩む

学校法人聖ドミニコ学院

理事長 小学校校長 鈴木かな子



十三世紀初頭に「恵みの説教者」として活躍した聖ドミニコ。全ての人に真の幸せを願い、神の愛を生きた喜びを共有し合うことを目標に掲げています。

そして今年、私たちは世界百カ国に広がるドミニコ家族と共に八百年の伝統、そこで与えられた数多くの恵みを感じ、お祝いしています。

さて、聖ドミニコの教ある逸話の中からひとつを記しましょう。

ドミニコがパレンシアの学生であった頃、殆ど全スペインを飢饉が襲った。富める人たちが、権威者たちはそしらぬ顔だった。だが彼は貧民たちの困窮に涙し、憐れみの情に動かされ、出来うる限り死の危険にある人々の窮乏を救うことによつて神の言葉に従おうと決心した。そこで彼は持っていた聖書（写本）（学生にとつては必需品であったにもかかわらず）、持っていた全全てを売り、それを資金として貧しい人々

に施しをした。

ドミニコが自分の手で注解を書き込んだ羊皮紙の貴重な聖書売却されるのを見て、驚く友人の一人に向かつて、彼は「人々が飢えて死んでいく時、死んだ羊皮紙の上で勉強していることは出来ない」と答えるだけだった。

全ての人が、彼の心の無限の愛の中に抱かれた。彼は全ての人を愛したので、全ての人が彼を愛した。

彼は「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣くことを自分の法としていた。」

このように聖ドミニコは相手が何も言わなくとも、相手の必要を感じ取り、デリケートに相手に配慮し、徹底的に相手を大切にしました。

このドミニコの精神こそ、聖ドミニコ学院で学ぶ子供たちが目指すべき姿勢です。即ち、無限の愛に満ちた神は、ご自分の愛の対象として、「人間」をお造りになりました。ですから、私たちはどんな境遇に陥っても、神から愛された存在としてのちがあることを忘れてはならないのです。

五年前、東日本大震災の折に、聖ドミニコ学院は世界中のドミニコ家族から折り、応援メッセージ、支援を頂きました。日本にある姉妹校の支援も大きく、震災の数日後に松山から愛光学園理事長の神父様が山形経由で仙台にお見舞い、視察に来てくださいました。東京聖ドミニコ学園後援会・生徒会・児童会・同窓会の皆さまからも、多くの支援で助けて頂きました。小学校児童会の発案でお弁当をおにぎりのみにして、おかず代を助け合いに回す子供たちの「おにぎり献金」は、児童一人一人の温かさに出会い、感動いたしました。また後援会から送られてきた多くの物資は、被害の大きかった地域にも役立させて頂きました。こうした共に歩むドミニコ家族の絆は強いものです。

子供たちはこの絆の輪を更に広げ、聖ドミニコに倣って多くの人たちと共感する感性を養い、グローバルな社会に貢献する人となることを願っています。

修道会八百周年に寄せて

幼稚園園長 森本 幸子



今年度は、ドミニコ会の創立八百周年という事で、様々な行事の折にお祝い

しています。創立記念日では、小学生が八百年前、つまり一二二六年頃の日本、鎌倉時代の様子を劇で発表してくれました。その様な昔に、創立されたドミニコ会の教えに基づいて、聖ドミニコ学院は、現代世界にドミニコの教え「真理」を探求し、実践する学校として存続しています。本当にすばらしいことだと思います。

八百周年を記念して歌っているLaudare Benedictam Praedicate (賛美、祝福、説教)の歌は子ども達が大好きな歌です。歌詞の意味はよく理解していないかもしれませんが、その歌声には力・希望を感じます。幼稚園では、運動会においてドミニコ会八百周年という歴史の中を生きた喜び、協調、力強さを子どもたちなりに表現できたらと取り組んでいます。

今、ドミニコ会創立八百周年という光栄の年を過している私たちですが、果たして、創立当初のような情熱を持って子ども達の教育に向き合っているでしょうか？行事を通して喜び祝うと共に、自分自身を省みるチャンスとして歩んでいく事が必要だと考えます。その事が取りも直さず、後世に継げる役目だと思えるからです。

教えをいつまでも

北仙台幼稚園園長 齋藤 潤子



ドミニコ会創立八百年、おめでとうございます。現在、聖ドミニコの名前は信者・

未信者を問わず多くの人が知っています。それは、教育に携わっていることが大きいと思います。

幼い子どもたちが初めての集団生活をする場である幼稚園では、聖ドミニコの教え(「正しい事を知り、愛と誠を持って実践する」)を、園児でもわかるようにと・あかるく・つよく・ただしくという表現で教えています。

卒園三カ月後に行われる同窓会、そして小学校卒業前に行われる六年生招待には、幼稚園時代を懐かしみ、県外に転居していても参加してくれる元園児たちの姿が多くあります。また、それぞれの人生の節目に幼稚園を懐かしく思い出し、訪れてくれる方もおられます。私たちがかつての園児たちと再会した時、成長したその姿を見て話を聞くと、それぞれが着実に自分の人生を歩み始めていると思えます。そして、幼い頃のわずか二三年の間に受けたドミニコの教えを心のどこかに持っていると感じられ嬉しくなります。

今は小さい子どもたちも、これから先の歴史を繋いで行く大切な存在です。ドミニコの精神を子どもたちの心に育み、いのちを大切に生きる力を持った子どもになれるように、これからも小さな種を蒔き続け、忍耐強く育てていきたいと思っています。

聖ドミニコの霊性に導かれた学校

中学校高等学校校長 高橋 延一



今年度はドミニコ会創立八百年の記念すべき年。八百年の長い歴史の中で一度も

分裂を経験せず、神の道具として一致を貫いて来られた諸先輩方に心からの敬意を表します。

聖ドミニコの霊性を知るためにはドミニコ会を見るのが一番です。そこには「開いた知性」、「真理の探究」、「本質の追及」の三つのキーワードが見えます。さらに目を凝らすと「逸早く時代の風を察知し預言的センスで時代の必要を感じ取り、来るべき変化に備え準備する会」の特性が見えて来ます。

戦前、ドミニコ会から仙台に派遣されたシスター方は幼い子供たちと戦禍を生き抜き、時代の要請に応えて学校経営を始めました。その目指すところは「型を覚え、その型を破るために、考える道具を与える」、「現実にも勇敢に挑戦し、新しいものを生み出す人を育てる」ことにあつたようです。

学校法人設立から六十有余年を過ぎた現代は「小学生が社会に出る頃までに六十五%の職業が入れ替わる」、「人工知能により四十七%の仕事が自動化される」と予想されています。ともすれば、変化のスピードの速さに驚き、たじろぎそうにもなります。しかし、大丈夫です。ドミニコ会は伝統的に変化への対応力に秀でています。希望と確信を持って共に前に踏み出しましょう。

平成29年度 園児募集

聖ドミニコ学院幼稚園

- 願書配布開始 10月1日(土)
- 入園説明会 10月12日(水)
- イベント(要予約) 10月21日(金)
- 体験入園(要予約) 10月11日(火)
- 14日(金)
- 19日(水)
- 願書受付・入園面接 11月1日(火)
- 手続き・用品注文

- ◎満3歳児(4年保育) 10名
- 2014年(平成26年) 4月2日
- 2015年(平成27年) 4月1日
- ◎3歳児(3年保育) 45名
- 2013年(平成25年) 4月2日
- 2014年(平成26年) 4月1日
- ◎4歳児(2年保育) 若干名
- 2012年(平成24年) 4月2日
- 2013年(平成25年) 4月1日
- ◎5歳児(1年保育) 若干名
- 2011年(平成23年) 4月2日
- 2012年(平成24年) 4月1日
- (入園願書受付) 11月1日(火)
- 7時30分

- (場 所) 聖ドミニコ学院幼稚園
- (提出物) 入園願書、家族写真
- (検定料) (五千円)
- (入園面接) 親子面接(10分程度)
- (入園手続き) 入園許可となった方は、入園料(四万円)
- 教育充実費(三万円)
- (用品注文) カバン・上靴・お道具等
- 詳しくは、募集要項をご覧ください。

- 聖ドミニコ学院北仙台幼稚園
- 願書配布開始 10月1日(土)
- 見学会(予約必要) 10月11日(火)
- 13日(木)
- 14日(金)
- 入園説明会 10月12日(水)
- キッズプレイデー(予約必要) 10月18日(火)
- アニマルランド 10月21日(金)
- 入園願書受付・面接・手続き 11月1日(火)
- 3歳児(3年保育) 40名
- (内5名程度弟妹枠)

平成29年度 園児募集

聖ドミニコ学院小学校

- 4歳児(2年保育) 若干名
- 満3歳児(4年保育) 若干名
- 入園願書受付 11月1日(火)
- 場 所 北仙台幼稚園
- 提出物 入園願書用封筒に記載してある書類
- 検 定 料 5,000円
- 面接 親子面接
- 入園手続き 入園許可された方は入園料四万円
- 施設協力費二万円を納入
- その他 用品等の注文など
- ※詳細は募集要項をご覧ください

- 平成二十九年児童募集に関して概要をお知らせします。
- 本校の教育方針、特色、子供たちの学校生活の様子等を知っていただけるよう学校見学を企画しております。
- ☆日程
- 十月四日(火)～十月五日(水)
- 九時三十分～十二時三十分
- ☆対象
- 幼稚園・保育園の園児とその保護者、幼稚園や保育園の先生、その他、関心のある方はどなたでもいらしてください。
- ☆申し込み方法
- 直接おいでください。

- ★入試について
- 【募集人数】
- 【願書受付】
- 一年生 四十名(男・女)
- 九月十二日(月)～十月三十一日(月)
- ※土・日・祝日を除く。
- 【入試日】
- 十一月五日(土)

- 聖ドミニコ学院小学校
- 電話 〇三二二二二一六三三七
- FAX 〇三二二二二一六二〇三
- E-mail elem@dominic.ac.jp
- http://www.dominic.ac.jp

角五郎幼稚園

お泊まり保育

七月十四日、十五日にかけて、年長児にとって最も大きな行事。お泊まり保育^①を行いました。当日は少し緊張した表情で登園して来た子ども達でしたが、友達と会うと笑顔になりほっとした様子が見られました。

不安定な空模様でしたが、皆で楽しくゲームやキャンプファイヤーの準備を行いました。夕食のカレー作りは、各野菜ごとに分かれ一人ひとりピーラーや包丁を使って真剣な表情で取り組んでいました。炒める、煮込む、ルーを

入れる全ての作業を行い、完成！自分達で作った夕食は格別だったようで、何度もおかわりに来ていました。

夕食後は楽しみにしていたキャンプファイヤーへ。天候も良くなり無事に外で行うことができました。勢いよく燃える薪を囲み、歌やダンスを楽しみました。打ち上げ花火は小学校の屋上から見ました。綺麗な花火に大満足しながら、寝転んで夜空を見上げたり、夜景を楽しんだりと素敵な時間を過ごしました。

皆で協力して過ごした2日間。大切な思い出になりましたね。

親子で遊びまわろう

六月四日に「親子で遊びまわろう」が行なわれ、気温も高く、とても暑い一日となりました。今年にはクラス毎に歌の発表を始めに行い、子ども達は緊張する中で練習の成果を十分に発揮することができたと思います。保護者の方々も温かく見守って下さり、子ども達も自信に繋がった発表となりました。また、園庭での触れ合う時間では、「びったんこ」という歌に合わせて親子で手と手を合わせ、くつつけたりと、恥ずかしさ

もある中で楽しんでいました。ダンスはドラえもん^②の曲に合わせて踊り、沢山体を動かしていました。玉入れでは、担任の先生に当てないよう気をつけながらクラス対抗で行い、親子で協力する姿や様々な関わりの中で参加していました。

行事の中で、親子の触れ合う時間は改めて大切だと感じました。親子一人ひとりが素敵な笑顔に溢れ、共に楽しく有意義な時間を過ごすことができました素晴らしい行事となりました。



夏祭りバザー

父母の会 会長 加藤 静穂

七月二日(土)、「七夕ドミニコ緑日へようこそ」をテーマに、甚平や浴衣姿の可愛い子ども達の笑顔溢れるなか、夏祭りバザーが開催されました。当日は雨の心配もありましたが、多くの方々にご来園いただき、心より感謝申し上げます。園内は、子ども達が制作した七夕の作品や、保護者の皆様で作ってくださった飾りでお祭りに賑やかな装いに。クラス毎に夏祭りバザー委員の皆様が企画運営してくださった食品・子どもお買い物・ゲームの出店コーナーや、各家庭よりご提供いただいた日用品のバザーも大盛況でした。自分の作品を指差す子ども達の笑顔や、小さなお財布を手に買い物をする姿も微笑ましく、親子で楽しい時間をお過ごしただけではないかと思えます。四月から夏祭りバザーにむけてご尽力いただいた委員の皆様をはじめ、保護者の皆様、先生方の温かい協力により無事に夏祭りバザーを終了できましたことを重ねて御礼申し上げます。



交通安全教室

七月八日に(公財)仙台ひとまち交流財団交通安全課から三名の方々にお越し頂き「交通安全教室」を行いました。

最初に「よろしくお願ひします」と幼稚園に来て下さった指導員の方に元気に挨拶をして始めました。子ども達が大好きな妖怪ウォッチのジバニャンとウィスパーとの人形劇を通してチャイルドシートの大切さや道路を渡る時は横断歩道を使って渡ることなどをたくさん学びました。ジバニャンの問いかけにも元気に答えながら、集中していました。そのあとは体を沢山動かして体操をして、いよいよ楽しみにしていた横断歩道マットを使って渡り方の練習をしました。お友

達と一緒に車がこないか、危なくないか確認をして右手をまっすぐ挙げて渡りました。渡る姿はとても素敵でした。最後にはびかぴか金色の免許証をもらい笑顔が溢れていました。

これからはジバニャンとの約束を忘れず、交通安全を守って過ごして行きましょう！



プール遊び

七月のお天気の良い日にプールに入りました。登園時に、プールに水が入っていることに気付くとわくわくの笑顔になりました。お部屋に入って身支度を済ませるといよいよ水着に着替えます。自分で脱いだものをきれいに畳んで水着を着たらドキドキの気持ちでプール活動の始まりです。準備体操で、手足を回したりジャンプをして体をよくほぐします。プールの水は少し冷たくて「冷たい」「気持ちいい」と喜びながら入る姿がみられました。プールの中では、

座ったり、少し顔を付けてみたり、クラスを越えてたくさんのお友達と楽しい時にしか出来ないプール遊びを楽しみることができました。



北仙台幼稚園

ドミニコまつり

七月二日に幼稚園でドミニコまつりを行いました。天気は心配でしたが、子どもたちが作ったちりめんが飾られ、無事に開催することができました。

浴衣や菟平を着ている子どもも多く、いつもの制服姿の子ともたちとは違う雰囲気の中、園庭には先生たちの出店があり、どの出店も大盛況でした。最後にホールにてジャワングンショウが行われました。数々の素晴らしい技に、驚きの声や拍手がいつぱいでした。楽しい夏の思い出になりましたね。

お泊り会

七月十四日と十五日の二日間、年長児によるお泊り会が行われました。天気は危ぶまれる中、お泊り会開始となりました。子どもたちが何かをしようとする時間は雨がやみ、神様に守っていただきながらの二日間でした。

電車に乗って天文台に行き、幼稚園に帰ってきてからはカレー作り、布団運びにスライ割り、フォークダンス大会、花火大会など盛りだくさん！「先生！またお泊り会やりたい！」と子どもたちの声！お友だちと協力して何事も行いひとまわり大きくなった年長さんが頼もしく感じました。

祖父母招待

九月二日、敬老の日を前に園児の祖父母の皆様方を園にの招き、祖父母招待日が行われました。

当日は、北は北海道、南は兵庫県まで各地から参加して頂きました。園児たちは大好きなおじいちゃんやおばあちゃんと一緒に折り紙をしたり、あやとりやお手玉を教えるもらい、普段とはひと味違う表情が見られました。また、この日の為に一学期から練習を重ねてきた歌や踊り、楽器など各学年毎の発表に、祖父母の皆様は目を細めたいくらい暖かい拍手を贈ってくださいました。

この日、園内は祖父母の皆様のおかげと和やかな雰囲気に包まれました。



老人ホーム訪問

七月十一日に幼稚園の近所にあるクワンタ雨宮という老人ホームに、年長児の子どもたちが訪問して来ました。

「おじいちゃん、おばあちゃんに元気を分けてあげるんだ」と張り切っていた子どもたちが、大勢のおじいちゃん、おばあちゃんたちの前で発表とほろり緊張気味でした。いつも歌っている「ドミニコ」と「きみは地球のたからもの」の二曲を発表しました。大きな拍手をもらい、安心した様子の子どもたち。次におじいちゃん、おばあちゃんとおペアになって手遊びやゲームをして触れ合いました。優しく迎えて下さるおじいちゃん、おばあちゃんたちに、子どもたちも嬉しそうに手を握ったり、頭をなでてもらっていました。最後は名残惜しくなるほど仲良くして頂き、素敵な時間を過ごせました。

子どもたちの元気なおじいちゃん、おばあちゃんに届いたかな？

あかるく・つよく・たたく



6年生招待

八月二十日に卒園した小学校六年生のお友だちを招待し、同窓会を行いました。

幼稚園を卒園し六年の日が経っているので引越しをして連絡先が分からなくなってしまうお友だちもいました。保護者同士でつながっており、連絡をとって頂きました。当日は十九名のお友だちの参加がありました。北は青森県から南は兵庫県と、この日のために遠方から集まってくれました。

六年振りに再開したお友だちは、幼稚園時代の面影はあるもの、落ち着いた男の子と女の子になっていて、見違えるほど！

六年振りとは思えないほど、すぐに友だち同士が打ち解け、思い出話に花を咲かせて笑いの絶えない時間を過ごすことができました。

忙しい中皆が集まってくれたこと、本当に感謝です。次に会えるのはいつになるのかな？

たのしがったらんどろがい ~ (10月) ~

年長児は毎日練習してきた組体操とパルーンを皆様に見て頂き、子どもたち一人ひとりの大きな自信に繋がりました。

最初は上手くできなかつたことも友だち同士で支え合い、協力し合うことで、当日は大成功の会場の皆様の温かい声援や拍手に包まれて、子どもたち自身の励みになっていたようです。

良いことは繰り返しては無く、乗り越えることが出来ました。これからの行事も皆の力を合わせて、乗り越えていきますよ！

年長児は運動会に向けて、かけこやボンボンを使ったダンスの練習を頑張ってきました。夏の暑さに負けず元気な笑顔いっぱいダンスをお父さん、お母さんに見せるために、汗をかきながら一生懸命練習してきました。「せかいじゅうのこどもたちが」という曲は皆で歌ったことがあり、知っている曲なので本番は歌を歌いながら楽しく踊ることができました。

かけこでは、皆が「一番になりたい、もっと早く走りたい」という気持ちで一生懸命頑張りました。運動会での子どもたちの活躍はいかがでしたでしょうか？

「エビカニ」子どもたちの元気な掛け声が聞こえてくる。踊っているのは、子どもたちの大好きな「エビカニ」です。この曲が鳴り出すと自然に笑顔になり体が動き出し、あつという間にエビカニに変身できる子どもたち！

最初は広い園庭で踊ることに戸惑ったり、自分の思いの通りに走ってしまう子どもたちの姿もありましたが、今では自らお面をかぶり、エビカニになりきっている姿が見られてきました。一生懸命踊っている姿がとっても可愛い年少児でした。



小学校

今年「聖ドミニコ修道会創立800年」を迎えた記念すべき年です。

聖ドミニコ学院小学校の子供たちは、世界中のドミニコ家族と共に、聖ドミニコの賛歌「賛美・祝福・説教」を歌いお祝いしています。

その他、様々な行事では、上級生から下級生までが一緒に関わり交流し、一つ一つの行事を終える毎に、日々子供たちの成長を感じます。

行事や課外の時間で輝く子供たちの頑張りの様子を、作文でご紹介いたします。

五月の運動会

今年度は、雨のためドミニコ小学校創立以来初めて二日にわたっての運動会。それでも六年生を中心に各色団結し、競技を行いました。また「Audate（賛美）Benedicite（祝福）Praise（説教）」の曲に合わせて合唱団が考えた踊りをみんなで楽しく踊りました。

「最高の運動会」

六年 鈴木 龍生

六年生が考えた今年のスローガンは「友情 団結・フライング・最高最強運動会」でした。また、学年では「あきらめないで、力を出し切り、絆を信じて歴史で最高」というスローガンを立てました。人と人とを繋げるということを意識して頑張りました。ほくは、大会委員長という立場でもあったので、みんなをまとめ、最高の運動会にできるようにすることも意識して臨みました。

小学校最高学年である六年生のなわとびと組み体操は「ジャンピング ブロッキング」という名前で史上初の長縄に挑戦しました。長縄ではスローガンの通り、引っかかってもあきらめずに声をかけ合いがんばりました。その後すぐに組み体操をしました。五人技までしっかりと決めることができました。

ほくたちブルーは優勝することができました。200の活動も一番でした。今まで三回優勝したけれどみんなが団結したことを今まで一番実感できて最高の運動会にすることができました。

運動会で染いた絆をさらに深く、花山合宿に臨みたいですね。

「どれだけ努力し、協力したか」

六年 吉田 恵

今年の運動会は大成功で幕を閉じた。しかも私のチーム、イエローサブマリンは二位という素晴らしい結果である。最後の運動会で初！上位の二位をとったのだ。だから私にとつての素晴らしい結果なのである。

一番に残った競技は、リレー。惜しくもイエローは二位。でもこの二位はいろんなものが混ざった結果だと思っている。みんなとの協力、給食後走ったお服のいたみ、上手いかなかなか練習、バトン受け渡しの失敗。たくさんさんの思い出が詰まった二位。この順位に自信を持つべきだと私は思う。私は悔いなく走ることができた。だから卒業後の思い出ベストスリーに入る気がする。勝負は勝ち負けだけじゃない。「一番大切なのは「どれだけ努力し、協力したか」ということだ」と思う。その気持ちなら、イエローが一番だという自信がある。

今年、ドミニコ会創立初の「延期」。その中でも私たちは生き生きと活躍していたであろう。この雨のおかげで私たちの団結が、より深まった気がする。雨が降って二日に分けられた運動会でも、きびきび行動した私たちをほめて、ほめて、ほめまくってほしい。最高の運動会になったことを感謝して：よーっ、パン！（一本締め）

「運動会を終えて」

六年 渡辺 希男大

ほくは運動会を終えて思ったことは二つあります。一つ目は「順位なんて関係ない」と思いました。チームのみんなが団結し一生懸命で良かったので。

二つ目は、「六年生ってすごいなあ」と思いました。なぜなら六年生は仕事がたくさんあるからです。ほくは副大会委員長と審判の仕事をしました。これからもいろいろな行事でも仕事が沢山あると思うのでがんばりたいです。

運動会を終えて勉強になったことがたくさんありました。一番勉強になったのは、団結するためには人はみんなのために、みんなは一人のために一生懸命にならないといけないということです。

今年ではくたちは最後の運動会でした。そして最後の演技「ジャンピングブロッキング」での長縄で初めは僕のチームは苦戦していました。しかし練習していくことよってできるようになり、そのときはチームみんなが喜びました。このようにあきらめずに一生懸命がんばれば絶対にできます。「努力は必ずむくわれる」

花山合宿（二～六年生）

二〇二三年度から二年生は日帰り遠足、三～六年生は、泊三日の花山合宿を行っています。

三～六年生二六名が「国立花山青少年自然の家」で二泊三日（七月十五日～十七日）を共に過ごしました。親元を離れ、大自然に囲まれた花山という場所で、たてわり活動をもとに班編成された仲間と生活するのです。「友だちと助け合い、自然と仲良く、思い出に残る楽しい花山合宿にしよう！」の目標を意識しながら、また、実感しながら合宿を無事に終えることができました。

自然の恵みを感じながら

五年 山本 馨野

私は花山合宿でたくさんを経験しました。その中でも楽しかった事はウォークラリーです。三、四年生はあなぐまコース、五、六年生はかもしかコースに分かれて活動しました。

私が歩いたかもしかコースは坂などが多く、少し急でした。でも、歌を歌ったり、グループの人と話したりしているととても楽しくて、疲れませんでした。その中で一番印象に残っているのは、風景です。歩いていると中、少し休けいをする時に上を見上げると、たくさん緑であふれていました。仙台市はもとと杜の都と呼ばれていてたくさん木などが植えられています。花山はその倍以上の緑がありました。それに、耳をすますと小鳥の声や川のせせらぎなどが聞こえてきました。私はその時に自然の力のすごさを感じました。静かなところが町中にはあまりないので、とても貴重な体験をしました。

そしてすこいなあと思ったのは、たよりになる六年生です。私が少し休けいしたいなと思った時に、「休む？」と、察して声をかけてくれ、びっくりしました。また、急な上り坂で登れずいた時、六年生が手を出して、私を引き上げてくれました。私は、このウォークラリーだけでなく、花山合宿の他の活動でも、六年生の優しさを感しました。

私は来年、六年生です。今年の六年生をお手本にして、下級生を支えられるようになりたいです。

私はこの花山合宿で感じた自然の力のごさを大事にしていき、六年生の優しさをしっかりと受け継ぎたいです。

私はこの花山合宿で感じた自然の力のごさを大事にしていき、六年生の優しさをしっかりと受け継ぎたいです。



自然豊かな花山

五年 米村 里緒

私たちは七月十五日、十六、十七日の三日間、二年ぶりに花山に行きました。花山は自然がいっぱいで、動物がたくさんいるような

所です。自然を楽しみたい人には、おすすめの場所です。

私たちは、いろいろな体験をしました。中でも一番思い出に残っているのは、キャンプファイヤーです。なぜかという、私は花山合宿に行くのは三回目ですが、キャンプファイヤーは初めてでした。今までは、雨という悪天候でキャンプファイヤーは、とても感動的でした。神様も一緒に見ているような安心感がありました。

私が一番大変だったのは、沢登りです。とて小さな滝に飛びこむのに挑戦しました。自分の強い所を見てもらいたかったです。思ったよりも高くてあせってしまいました。私は心の中で（楽しい、楽しい）と何度も自分に言い聞かせました。目をむいて飛びこみました。水は冷たくて寒かったけど、思ったよりも楽しくて、二回も三回も飛びこみました。

私の合宿の個人目標は、「自分の事は自分でし、けがをせず、楽しい花山合宿にしよう」でした。自分ではがんばって取り組んだと思っっているけど、皆から見えてどうだったかなあと思っっています。

今年自分事で精一杯でした。来年こそは、六年生らしく下級生のめんどうをもっと見られるようになりたいです。

合唱団の快挙

合唱団結成から九年日が経ちました。二〇数名の歌うことが大好きな児童が集まって始まった合唱団も、今では、団員三十名を超えました。

この九日間を振り返るだけでも合唱団の活動は校内外問わず、様々な場所で積極的且つ活発に行われてきました。

その活動を支えるのは、日々の練習、そして長期休みにも行われる練習です。

練習量と比例して演奏技術に磨きがかかり、着実にコンクール等への評価に実力となつて表れてきました。八月二十一日に開催された第三回NHK全国学校音楽コンクール宮城県大会

くにおいて、金賞を受賞するだけではなく、東北大会出場が決定しました。このNHK全国学校音楽コンクール参加は、四年目です。四年目にして初の東北大会出場は、正に快挙と言えるでしょう。

【六年生】

二年生の時、合唱を聴き、とても感動した。少ない人数でも一人一人が全力で歌う姿に憧れ入団した。今では団員数が三九名に増え、先輩方が教えてくれたことを、私が後輩に伝える番となった。悔しさも経験したが、努力し続けるからこそ得られる感動を今年味わうことができた。来年も喜びを分かち合えるように、歌声を引き継いでいきたい。

(福島 萌)

金賞と聞いたときは、夢だと思いきり信じられなかった。この夏の仲間と日々が走馬灯のようにかけめぐり、涙が溢れだした。あの日流した悔し涙は、練習の汗とともに消え去ったが、これまでの感謝や積み重ねは決して消えない。歴史があつて今がある。築かれた伝統を守り、新しい伝説をつくれたことに喜びを感じて、東北大会も頑張りたい。

(吉田 恵)

今年こそ！と頑張ってきたことが、四度目の挑戦で実を結んだ。東北大会では、県の代表として自信を持って歌いたい。このNコンで、自分や仲間を信じて頑張り続ける素晴らしさを実感した。毎日積み重ねれば努力は報われると思う。私は、自分の受験勉強でも諦めずに取り組みたい。このような事に気づかせてくれた合唱に感謝したい。

(川本 萌子)



初のNコン挑戦は、三年生。ハードな練習にあきらめそうな気持ち

ちになったが、そんな私を支えてくれたのが、当時の六年生。今、私は団長になり、先輩方に追いつこうと自分なりに頑張っている。これからは、下級生達と合唱を通して沢山のかけがえのない思い出をつくりたい。だからこそ誰よりも笑顔で歌い続け、皆を引っ張っていく。

(加藤 みゆら)

新しい先生を迎えて

私にとって学校の先生は、家族の次に身近な大人でした。普段は意識していませんが、いつでも私の心の中や行いの中に存在していて、時折思い出して「あの先生は元気にしていらっしやるだろうか」と、ふと懐かしくなります。

私は一年生の副担任を務めておりますが、毎朝教室に飛び込んでくる「おはようございませう」の元気な声に、笑顔をもたらしています。聖ドミニコ学院小学校は、優しい、素直な心を持った子どもたちばかりです。困ったときには助け合い、分らないことは教え合う気持ちがあり、一年生のうちからしっかりと育まれています。一人一人にきめ細かく目を配り、子どもたちの上へ上へと伸びていく力や、その生命力をのびのびと育てていくのは、聖ドミニコ学院小学校の良いところのひとつだと思っています。



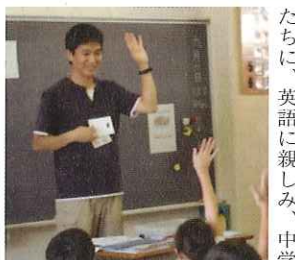
一年副担任 熊谷 香花

聖ドミニコ学院小学校に来て、早くも半年が経とうとしています。初めて子供たちの前で挨拶した時のことを思い返すと、最も強く印象に残っているのは子供たちの声の明るさでした。緊張に喉を震わせながら発した私の第一声は、何の変哲もない「皆さんおはようございます」。しかし、それに応えてくれた子供たちの元気な「おはようございます」の声。思えばそれは、私と子供たちが交わす初めての言葉の交流でした。子供たちの声には、「体どんな先生なんだろう」「何を教えてくれるんだろう」「優しい先生かな、怖い先生かな...少しの不安、そして大きな期待が込められているように感じられました。こんな新人の私に、子供たちが少なからず期待を持ってきている。それは大変なプレッシャーでもありました。それ以上に大きな喜びでもありました。その時の声は私を大きく奮い立たせて、今もなお教壇に立つ時に背中を支えてくれています。



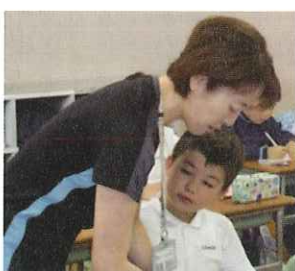
二年副担任 小田島 風

「ことば」と「声」が及ぼす影響というものは大変に大きなものです。「たった一言」が誰かを深く深く傷つけることもあれば、同じく「たった一言」が、誰かの歩んできた人生を全肯定してくれるような、魔法の言葉になることもあります。声援や励ましの言葉は勿論、日常の何気ない一言さえ、人ひとりの人生を大きく変える力を秘めていることがあります。だからこそ、たった一言の「あいさつ」でさえも。



三年副担任兼英語専科 橋本 良太

世界では母国語+英語が日常な社会となっている国が多いことは周知のことではあります。素晴らしい日本の技術や文化との関わりを求めている国もますます多くなっていきます。そういった時代に成人となられていくドミニコの子供たちに、英語に親しみ、中学・高校の英語はもちらん将来にも活かせるような指導を心掛けていきたいと思っています。



四年担任 船越 美佳子

「先生は、どうして先生になったの？」毎年きまってる子供たちから質問されます。「子供が好きだからだよ。そう答える私に、「こんなに忙しいから、それでも？」と不思議そうな顔。きつと子供の目には、いつも忙しくバタバタしているように見えるのでしよう。余裕を持って接することができていなかったのかも、と自分をちらりと反省することもありました。

あるとき、一人の男の子が「はくは、絶対先生にはなれないな」と近づいてきました。少し照れ屋なところもあり、本気の時こそ反対の事を言ってしまうところがある子です。「どうして？〇〇くんは、ずっと食べられない人だっただけで今は食べられるし、全然跳べなかったなわとびもできるようになったし、字だってきれいになったし、頑張ったよ。あのね、最初からすぐ何でもできるようになる人はとてもかっこいいけど、できなくて何回も失敗した人の方が、できた時の「うれしいうん」の方が、できない人の気持ちをよくわかってあげられるじゃない先生に気持ちはよくわかったよ。あれからびゅうっといなくなると思いましたが、その時は大きくなさず、目をきらきらさせて黙って聞いてくれたのでした。

その時、私は思いました。そうだ、こういうことだ。自分の言葉で、一人の子の何がかわる、何かが目覚める、そんな大きな事でもなくても、目を輝かせて話を聞いてもらえ、そういう瞬間があるから、私はこの仕事を続けていられるのだ、と。

教師という仕事に出会えたこと、日々のパワーを与えてくれる子供たちに囲まれるからこの仕事に携わっていただけることに感謝し、これからも力尽くしていきたく思います。

中学校高等学校

生 気 澆 刺

若き乙女のドミニコ祭

ともに震災を乗り越えて

ドミニコ祭実行委員長
高校三年 三塚 里奈

七月九日(土)今年も中学校高等学校ドミニコ祭が開催されました。実行委員会が企画した「ミスコン」には全クラスが参加し、大いに盛り上がりました。もう一つ、心に残った思い出は、岩手県大船渡市在住のJAWBLOWさんが来校してくださったことです。東日本大震災直後から瓦礫の撤去、瓦礫の中から出てきた車椅子を修理して寄贈する活動を続け、全国の復興イベントに招待されてきたJAWBLOW。五年前の震災という出来事に私たちと共に向き合い、その悲しみを音楽によって希望へと変えてくれる温かい歌声がドミニコ祭に集まった人たちの心に染み渡りました。

学院内外の多くの方々に支えられ、

頑張っています

中学校高等学校ボランティア部

今年7月1日発行の「社協だよりせんだい」創刊号や8月21日の河北新報朝刊などでも紹介されたボランティア部。

有志が集まって始めたボランティア活動が今では立派な中学高校を代表する部活動になりました。

仙台三越と藤崎ファーストタワー館前の街頭募金は月に1回土日のいずれか、ホームレスの方々への炊き出しは毎月第2土曜日に取り組んでいます。

震災遺児と熊本地震などによる被災者のために、何の見返りも求めず、ただ聖書の言葉を実践しています。



ご協力よろしく
お願いいたします

感動のうちにドミニコ祭を終えられましたこと、中学校高等学校生徒を代表し、心からお礼申し上げます。

後輩へのメッセージ

ドミニコ祭企画委員長
高校三年 小野 采音

昨年度の反省に「来校者も生徒もともに楽しめる企画が欲しい」とあった。大いに悩んだ結果、ドミニコ祭参加者全員によるビンゴ大会を思いついた。ただ、色々な仕事分担を抱える中、生徒全員がビンゴ会場に向かうことは不可能だ。そこでビンゴ大会を二回に分けて実施してみた。委員会や発表団体ごとの仕事を交替し、何とか皆が集まることのできた。「ビンゴ大会がよかった」という多くの声を聞き、私たちが企画委員の苦勞は報われたと思う。少ない人数で、一人何役も担当しながらのドミニコ祭。でも皆文句を言わず、互いに支え合って黙々と仕事をこなしていく。この美風をこそドミニコの良き伝統として、次年度以降も引き継いでいってほしい。

奉仕の心の大切さ

中学二年 四釜 礼菜

わたしたち中学生は、一年生が「緑日」、二年生が「お化け屋敷とレモネードスタンド」、三年生が「フライドポテトとタピオカジュース販売」を出店しました。私の後輩のドミニコ学院の小学生も多く来場してくれて、とても嬉しかったです。

「レモネードスタンド」は小児癌で八歳の命を絶たれたアレックスという少女が始めた、レモネードの売上げで小児癌の子供たちを救う募金活動です。この活動を私たちは英語の授業で知りました。一人でも多くの命を救いたい、この思いからレモネードスタンドを実施し、奉仕の心の大切さを深く学ぶことが出来ました。



中総体・高総体報告

第65回仙台市中学校総合体育大会

剣道競技 青葉区女子団体第3位

第65回仙台市中学校総合体育大会

剣道競技 青葉区女子個人第3位

第65回宮城県中学校総合体育大会

剣道女子団体第3位

第65回宮城県中学校総合体育大会

剣道女子個人第5位

第65回宮城県高等学校総合体育大会

剣道競技 女子団体第3位



入試説明会&イベント情報

入試説明会

10/15 (土) 9:00~12:30

個別入試相談会

10/29 (土) 10:30~12:00

11/ 5 (土) 10:30~12:00

11/11 (金) 17:00~20:00

11/18 (金) 17:00~20:00

11/19 (土) 10:30~12:00

11/26 (土) 10:30~12:00

12/ 3 (土) 10:00~12:30

12/10 (土) 9:30~12:00

コース説明会

※高校のみ

10/29 (土)、11/5 (土)、11/19 (土)

いずれも9:30~11:00まで

推薦入試対策講座

※高校のみ

11/26 (土) 9:30~11:00

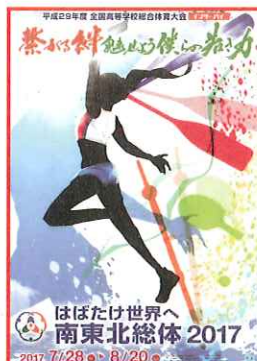
一般入試対策講座

※高校のみ

12/ 3 (土) 9:00~12:00

平成29年度全国高等学校総合体育大会

2017年7月28日から8月20日まで、山形・福島・宮城の南東北3県で全国高等学校総合体育大会が開催されます。この大会を支えようと高校生による「学校サポート委員会」が去年立ち上げられ、本校からは高校2年の早坂瑞季さんと和山久美子さん、高校3年の小野采音さん本田麻里愛さんの4名が、学校サポート委員として活躍中です。宮城県では競泳、女子バレーボール、剣道、サッカー、なぎなたなど11競技13種目が開催されます。





◆中学生◆

第61回北若手南青森下川杯少年剣道大会

中学校女子団体戦の部 優勝

第14回全日本バトントワリング選手権

宮城県大会 ソロストラット中学校部門

第1位 清野 絢花

ソロトワール中学校部門

第2位 清野 絢花

第3回東日本少年剣道錬成大会

中学校女子の部 優勝

第10回瑞穂杯争奪剣道大会

女子の部第1位

第33回宮城県中学校校内放送コンテスト

アナウンス部門銀賞 洞口 莉佳

アナウンス部門銅賞 四釜 礼菜

朗読部門銀賞 白倉向日葵

第20回杜の都中学校選抜剣道大会

女子団体 第2位

第42回全日本バトントワリング選手権

東北支部大会

ソロストラットU15部門

第1位 清野 絢花

ソロトワールU15部門

第2位 清野 絢花

アーティスティックトワール

女子Jr部門第3位 清野 絢花

第33回NHK杯

全国中学校校内放送コンテスト

アナウンス部門参加賞 四釜 礼菜

アナウンス部門入選 洞口 莉佳

朗読部門参加賞 白倉向日葵

◆高校生◆

第42回宮城県高体連仙塩支部剣道大会

女子団体 第3位

第37回仙台市私立高等学校

女子バレーボール春季大会

平成29年度 聖ドミニコ学院中学校「生徒募集要項」

募集員	期	出願区分	試験内容	出願期間	試験日	合格発表
女子30名	I期	推薦入試	・面接(保護者同伴)	2016年12/1(木)～12/20(火)	2017年1/5(木)	2017年1/6(金)
		一般入試	・基礎学力検査(国語・算数)			
		スポーツ奨学生入試	・面接(保護者同伴)			
	II期	推薦入試	・面接(保護者同伴)	2017年1/16(月)～1/31(火)	2017年2/8(水)	2017年2/9(木)
		一般入試	・基礎学力検査(国語・算数)			
		一般入試	・面接(保護者同伴)			
III期	一般入試	・面接(保護者同伴)	2017年2/13(月)～2/17(金)	2017年2/22(水)	2017年2/22(水)	

第31回宮城県管打楽器ソロコンテスト予選高校生生の部 優秀賞 羽根田美優
 宮城県私立高等学校バレーボール選手権大会 女子の部 第3位 優秀賞 吹田 千裕
 宮城地区第一回学生いけばな競技会 準優勝 坂場 香琳
 サーブ賞 村山 春菜
 功績賞 菊田 美玖

平成29年度 聖ドミニコ学院高等学校「生徒募集要項」

コース	募集定員	出願区分	試験内容	出願期間	試験日	合格発表
特別進学コースα系、β系	女子55名	推薦入試	・推薦入試 面接	・推薦入試 2016年12/22(木) ～2017年1/6(金)	・推薦入試 2017年1/11(水)	・推薦入試 2017年1/12(木)
		一般入試				
幼児保育進学コース	女子60名	推薦入試	・一般入試 【A日程・B日程共通】 学力試験 (国語・数学・英語)	・一般入試 【A日程・B日程共通】 2016年12/22(木) ～2017年1/17(火)	・一般入試 2017年【A日程】1/25(水) 【B日程】1/27(金)	・一般入試 2017年1/31(火)
		一般入試				
キャリアデザインコース	女子60名	推薦入試	・二次試験 面接	・二次試験 2017年3/1(水) ～3/17(金)	・二次試験 2017年3/18(土)	・二次試験 2017年3/18(土)
		一般入試				

受験生を応援する様々な特典

- ・学業、部活動奨学生では種別に応じて入学金(50,000円)と教育充実資金(150,000円)さらに月ごとの授業料(31,000円)と教育充実費(15,000円)を3年間支給します。
- ・祖母、母、姉(在学中も含む)が中学高校の同窓生の場合、入学金(50,000円)を支給します。(他の奨学生制度で入学金が支給される場合は支給されません。)
- ・自己推薦、一般入試の専願合格者には教育充実資金(150,000円)を支給します。(学業奨学生に採用された場合は支給されません。)
- ・第一次手続きをした一般入試合格者でも、公立高校に合格し、本校への入学を辞退する場合には、第一次手続金(50,000円)は返還されます。

※詳細は「2017生徒募集要項」で確認して下さい。

第2学期 主な行事

10/ 3	始業式	12/7, 8	中1、2中間考査
10/ 7	修養会	12/22	クリスマス・閉講式
10/12	秋季生徒総会	1/10	開講式
10/24	防災訓練	1/14,15	大学入試センター試験
10/26	中学・高1奉仕活動	1/19	高3卒業修養会
10/28	球技大会	2/21～27	高校期末考査
10/31～		2/22～24	中学期末考査
～11/11	研究授業週間	2/28	3年生を送る会
11/24～28	高2中間試験	3/1	高校卒業式
11/28	中3中間試験	3/10	中学卒業式
12/5～8	高1中間考査、高3考査	3/24	離任式
12/5～9	高2修学旅行		中学終了式・高校終業式
12/6～9	中3修学旅行		

聖書のこぼれ

主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた。

(創世記2章15節)

自然の中で泉から水を引き、有機農業を営み、そこで獲れたものをいただく、母屋以外の点在する庵には水も通っていないという場所で数日を体験するために、南信州の高森草庵を初めて訪れたのは修練女(終生誓願をたてた修道女の前の段階)の時だった。そこで、不安と期待の混ざった私たちを迎えて下さったのは、豊かな自然と輝くような神父様の笑顔だった。

季節的に、これから植え付けをするじゃが芋畑を耕すのが私たちの仕事。一輪車に道具を積み、お宮の前を通って畑に通う。わたしたちの傍らには、いつも都会の仕事で疲れた男性が一人ただ風に吹かれ、腰かけていらした。

食事は母屋で一堂に会し、係が獲れたお米と野菜で作ってくださる。食後には神父様の聖書講義。一口、口に運ぶと一陣の風が吹いたようだった。自然と人と自分が一つにつながる感覚。どなたかが植え、収穫したものを私たちが頂く。私たちのささやかな労働もまた、自然のサイクルの中で祝福されて、どなたかの命を養う。人間の営みが調和して全てが一つにつながるような。地上に樂園が存在することを示すために神父様は呼ばれたのだらうか。

生涯を捧げ確信を伝えて下さったドミニコ会の諸聖人に感謝する創立八百周年を迎え、押田神父様の現代世界へのメッセージが私の心にこだまする。

宗教科主任 柚木 洋子

主なる神は人を連れて来て、エデンの園に住ませ、人がそこを耕し、守るようにされた。

(創世記2章15節)